

長谷部圭亮 特任助教（千葉大学大学院医学研究院 地域医療教育学）が、千葉大学大学院医学薬学府先端医学薬学専攻博士課程を修了し、博士（医学）の学位を取得しました。

学位論文のテーマは、

医学部学生の地域志向性および健康の社会的決定要因の理解を高める変容的学習としての地域診断教育 ―混合研究方法による検討―

です。

地域診断（Community Diagnosis）は、実際に地域へ足を運び、統計データだけでなく、地域で暮らす人々の声や生活の場に触れながら、その地域の健康課題や強みを捉えていく取り組みです。

本研究では、この地域診断を医学生の体験型教育として実践し、その学びを量的・質的な側面から検討しました。その結果、地域診断を通じた体験型学習が、医学生の地域に対する関心を高めるとともに、健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health：SDH）に対する理解や態度の向上につながることを示しました。

地域診断は、地域の健康課題を知るための手法であるだけでなく、地域に実際に足を運び、住民の声や地域固有の文脈に触れながら、自ら問いを立てて学ぶ機会でもあります。

社会や医療を取り巻く環境が複雑かつ急速に変化し、AI の活用も進む現代において、正解が一つに定まらない課題に対して、多様な人々と対話し、協働しながら考え続ける力を育むことには、大きな教育的意義があると考えています。

今後も地域診断×医学教育を一つのライフワークとして、これからの時代に必要とされる地域医療教育のあり方を探究していきます。

本研究成果は *BMC Medical Education* に掲載され、オープンアクセスで公開されています。ぜひご覧ください。

論文

Hasebe K, et al. Community diagnosis as a transformative learning approach to enhance medical students' community orientation and understanding social determinant of health: a mixed-methods study.

BMC Medical Education. 2026;26:209.

doi: [10.1186/s12909-026-08574-4](https://doi.org/10.1186/s12909-026-08574-4)



学位審査（左：指導教員 伊藤彰一教授 右：長谷部圭亮 特任助教）



学位記伝達式